

せきつい せきずい

脳神経外科 「脊椎脊髄・しびれ外来」

脊髄・末梢神経障害は、**頸部痛、手・腕・足のしびれ・痛み、運動麻痺、歩行障害、腰痛**など様々な症状があります。脳・脊髄・末梢神経を系統立て診察します。治療は安静・投薬・神経ブロックなどの保存的治療から、手術は手術用顕微鏡を用い、患者さんに最適な術式を選択します。手足のしびれ・痛みなど上記症状でお困りの方、また症状が軽くてもご心配な患者さんは、些細なことでも構いませんのでご相談ください。

おもな対象疾患

頸椎変性疾患(頸椎症、頸椎椎間板ヘルニア、頸椎後縦靭帯骨化症など)

⇒頸部痛、手や足の痺れ・痛み、手や足の力が入りにくい、歩きにくいなど

腰椎変性疾患(腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニアなど)

⇒腰痛、足の痺れ・痛み、歩くと症状が強くなり休むと楽になるなど

胸椎症、黄色靭帯骨化症、脊髄腫瘍、脊髄血管障害、キアリ奇形、脊髄空洞症など

⇒手や足の痺れ・痛み、手や足の力が入りにくい、歩きにくいなど

手根管症候群、肘部管症候群

⇒手の痺れ、力が入りにくいなど

足根管症候群

⇒足裏の痺れ、物が張り付いた感じ、熱感、冷感など

仙腸関節障害や上殿皮神経障害などの難治性腰痛など

⇒腰痛、殿部(おしり)痛

担当

森本大二郎

日本医科大学卒業

医学博士

資格：日本脳神経外科学会認定専門医

日本脊髄外科学会指導医

日本脊髄外科学会代議員

日本仙腸関節研究会幹事

